

議会事業評価を行いました

Q. 議会で行う事業評価ってなに？

A. 半田市が前年度に行った事業が、市民のために役にたったのか、有効性、妥当性、効率性の観点で評価し、その評価結果を翌年度の予算編成へ活かしていただくよう、市長に対し要望します。このくり返しにより今後の事業の改善につなげることができます。



議会事業評価へ

多くの施策の中から特に重要な施策を常任委員会分科会ごとに選定し、以下の3事業が対象となりました。

総務委員会

[主要事業名] 感震ブレーカー設置促進事業

[方向性・提案] 改善のうえ継続

▶これまでの事業に対する評価

- ・電気に起因する火災の被害軽減と防災意識の向上、高齢者が安心して暮らすことができることを目的に事業を地道に推進してこられたことは評価できます。
- ・自治区と協力した共同購入、戸別訪問、PR動画等による啓発活動は一定の成果があり評価できます。
- ・過去3か年の目標と実績値からコロナ禍であったが、事業として成り立っており、設置に至らない市民に対してのアプローチ方法や他の手法を検討、実施する必要性がありました。

▶今後の取組方と提言

- ・昨今、地震もなく市民の関心が薄らいでいる中であるが、今後は市内全域に対象エリアを広げ、対象者や製品の補助対象を拡充し、期限付きで積極的に取組んでください。
- ・感震ブレーカーは、地震時の出火を抑え、防災・減災対策として設置の必要性があるため、チラシ、SNS、市ホームページ、回覧板、防災訓練等での周知・理解促進、設置の取組は継続してください。

文教厚生委員会

[主要事業名] 学校生活支援事業

[方向性・提案] 拡充

▶これまでの事業に対する評価

- ・児童生徒数による配置基準を基に生活支援員等の配置は適切にされ、学校での生活の支援ができ評価できます。
- ・支援員等の研修等がコロナ感染症の影響により2年間未実施である。技能の向上のための改善が必要です。
- ・多動傾向、日本語を十分理解できない等、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が不十分です。

▶今後の取組方と提言

- ・支援員の研修や情報交換については、感染予防対策をとる、または、オンラインなど工夫して行うなど、継続的、定期的にレベルアップ研修の実施がされるよう改善を求めます。
- ・支援員の人員配置は、特別な支援が必要とする学校に違いがあることも勘案し、支援員の増員や配置時間の再検討を求めます。
- ・配置基準を超えて支援員を必要とする場合には、半田市教育支援委員会に意見を求め予算の増額をしてでも支援員の増員配置を求めます。

建設産業委員会

[主要事業名] 老朽化建築物取壊促進・空き家対策事業

[方向性・提案] 改善のうえ継続

▶これまでの事業に対する評価

- ・老朽化建築物やブロック塀の取り壊しの推進は、目標を上回り、地域住民の生活保全に対応し、減災化を図る目的が達成できたと評価できます。
- ・空き家の発生予防の観点から、空き家バンクの充実等による空き家の利活用の促進は、PR不足の面から改善できる余地があります。

▶今後の取組方と提言

- ・老朽化建築物取壊促進事業は、引き続き継続してください。
- ・空き家バンクの登録が進むよう分析し、相談窓口となるべき空き家マイスターを市民に広く周知してください。
- ・空き家バンクの活用事例や空き家バンクを使うことのメリットを紹介するなど、具体的に市民に示してください。